

徳島新聞「輝け高校生」クラブ活動助成金 活動報告書(2021年7月～2022年3月)

学校名 生光学園高等学校
クラブ名 柔道部

◆2021年の活動報告

県高校総体	団体戦:優勝 個人戦:全階級制覇
四国高校総体	団体戦:準優勝 個人戦:優勝 2名 準優勝 3名 3位 2名
高校総体	団体戦出場 個人戦:78 ^キ 級 ベスト 16
高校新人	団体戦:優勝 個人戦:優勝 2名 準優勝 1名 3位 2名
高校選手権予選	団体戦:優勝 個人戦:優勝 4階級 準優勝 2名 3位 1名

新型コロナの影響により、制限される中での活動となりましたが、このような結果を残すことができました。

◆助成金の使途

助成金をいただき、筋力強化に使用するダンベル、重り、バーベル等のウエイト器具を購入しました。また稽古・トレーニング後のケアのためのアイシング具、ストレッチポールなども購入し身体ケアもしっかりでき怪我予防・怪我防止ができ大きな怪我もなく結果につなげることができました。

◆今後の抱負

今年は、コロナ禍の中でも全国大会が開催され、全国の舞台で戦うことが出来ました。しかし思うような結果につなげることが出来ませんでした。

どんな状況でも諦めず目標に向かってやり続ける・あきらめなければ必ず結果につながるという精神面の強さをコロナ禍で培うことが出来たので来年度は、今年以上の結果を残せるよう選手とともに邁進していきます。

徳島新聞「輝け高校生」クラブ活動助成金 活動報告書(2021年7月～2022年3月)

学校名 徳島県立海部高等学校
クラブ名 男子バスケットボール部

◆ 2021年度の活動報告

令和3年度は、近年同様、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、校内外問わず、様々な活動や部活動を制限せざるを得ない期間が続きましたが、ピンチはチャンスとして捉え、短時間の練習時間も内容が濃いものとなるよう、より一層練習に励んできました。10・11月に実施されました、全国高等学校バスケットボール選手権大会では、助成金の使途でもありますように、部員の体づくりに全精力を注ぎ、トレーニング器具を購入し、よりよい練習環境の充実とということから、タイマーを新調し、大会に臨みました。結果は残念ながら、59-58、1点差の敗北となりましたが、令和4年度の地元開催である四国インターハイに向けて、チーム・スタッフ一丸となって、全力を尽くしております。

◆ 助成金の使途

1. デジタイマー 100,000円
2. スポーツマスク 100,000円

合計200,000円

◆ 今後の抱負

令和4年度は、全国高等学校総合体育大会が徳島県を中心とした四国地区で開催されます。昨年はもう一歩というところで、インターハイ出場の切符を勝ち取ることができなかった悔しさを胸に、部員全員でコロナ禍を走り抜けてきました。本校に、インターハイを支える高校生活動推進委員会の委員長が在籍していることもあり、本校自体がインターハイの広報活動を熱心に行っていることもあり、インターハイ一色となっております。その働きかけに部員たちも刺激を受け、頑張っております。

今年は、部の目標でもある全国ベスト8を目指すべく、インターハイ出場がかかっている6月3日から始める県総体に向けて、日々鍛錬を積んでいきたいと思っております。地域の方々や保護者の方など、多様なサポートをしてくださっている人たちに、恩返しができるよう、チャレンジャーとして部旗にも掲げられている「疾風迅雷」の言葉のように、全国大会で海部旋風を巻き起こせられるよう、全力で頑張っていきます。

徳島新聞「輝け高校生」クラブ活動助成金
活動報告書(令和3年7月～令和4年3月)

学校名 徳島県立池田高等学校辻校
クラブ名 硬式野球部

◆ 令和3年の活動報告

出場大会

- ・令和3年度総体協賛ブロック大会
- ・第103回全国高等学校野球選手権徳島大会
- ・徳島県高等学校野球新人ブロック大会
- ・第74回徳島県高等学校野球秋季大会

ボランティア

- ・地域のゴミ拾い活動

◆ 助成金の使途

助成金の大部分をピッチングマシンの修理費用に充てさせていただきました。また残りを練習用ボールの購入に使用させていただきました。

◆ 今後の抱負

部員数は少なく、華やかな実績はありませんが、地域の方々に応援され、愛される野球部をめざし、多くの人に試合を見てもらえるように県内大会で上位に入ることを目標に、練習を重ねていきます。

徳島新聞「輝け高校生」クラブ活動助成金 活動報告書(2021年7月～2022年3月)

学校名 徳島県立富岡東高校
クラブ名 女子バスケットボール部

◆2021年の活動報告

○遠征・練習試合(制限されていたので、日帰りを中心とした遠征を実施した。)

- ・7月23日(金)岐阜遠征(岐阜女子高校)
- ・7月25日(日)岡山遠征(倉敷翠松高校・倉敷芸術科学大学)
- ・10月16日(土)練習試合(倉敷翠松高校)
- ・10月22日(金)練習試合(高松南高校)
- ・11月14日(日)兵庫遠征(流通科学大学)
- ・11月21日(日)京都遠征(京都両洋高校)
- ・11月23日(火)愛媛遠征(聖カタリナ高校)
- ・11月27日(土)練習試合(岡豊高校)
- ・11月28日(日)兵庫遠征(園田学園女子大学)
- ・12月12日(日)大阪遠征(大阪桐蔭高校)

○公式試合

- 6月 県総体 優勝
- 6月 四国総体 2回戦敗退
- 8月 全国総体(新潟県) 1回戦 富岡東67-90鵬学園(石川県)
- 11月 県選手権大会 優勝
- 12月 全国選手権大会(東京) 1回戦 富岡東87対90慶進高校(山口県)

◆助成金の使途

上記の遠征や大会の旅費に活用させていただきました。

◆今後の抱負

県総体を優勝し、全国総体では1回戦で、石川県の鵬学園と対戦した。3Qまではついて行くことができたが、190cmある留学生にリズムを乱され、負けてしまった。県選手権大会も優勝し、12月の全国大会に出場しましたが、接戦するも3点差で負けてしまった。全国の壁は高いので総体や選手権の結果を色々な方向から分析をして強化に力を注ぎたい。今後は、四国優勝、全国ベスト8を掲げ選手・監督が一丸となり練習に取り組んで行きたい。勝利至上主義にとらわれることなく、プロセスを大切に選手一人一人に良い生活習慣や人間性の確立ができるような指導を目指す。また、保護者や周りの人々の支援も必要ですので、選手・保護者・指導者の信頼関係の構築にも力を入れる。

徳島新聞「輝け高校生」クラブ活動助成金
活動報告書(2021年7月～2022年3月)

学校名 徳島県立鳴門渦潮高等学校
クラブ名 女子ラグビー部

◆2021年の活動報告

第4回全国U18女子セブンスラグビーフットボール大会

10/23(土) 鳴門渦潮 0 - 12 関東学院大浦高等学校
鳴門渦潮 12 - 19 福岡レディーズRFC
10/24(日) 鳴門渦潮 5 - 32 開志国際高等学校
鳴門渦潮 38 - 10 東北選抜

全国第11位

埼玉県熊谷スポーツ文化公園ラグビー場

◆助成金の使途

鳴門渦潮高等学校公式レコードジャージ(赤系)購入
2021 全国大会使用

◆今後の抱負

全国大会出場を継続できるように日々、精進努力を
積み重ね、体力の向上や技術の習得に努めている。
今年度も四国大会予選を勝ち抜き、全国大会で
ベスト4入りできるように取り組んでいる。